



「自分を大切にする それと同じように他の人も大切にする」

校長 板垣 英樹

2学期が始まりました。8月25日の朝、休み明けで元気に登校してくれるだろうかという不安もある中、校門で子どもたちを待ちました。その心配もよそに、さわやかな笑顔で登校する様子を見て、松野尾の子どもたちは充実した夏を送ることができたのだと感じました。

大きな事故やけがの連絡もなく、保護者の地域の皆様が夏休み中にも子どもたちの安心安全に配慮してくださったおかげだと感謝の気持ちでいっぱいです。

この夏は、様々な行事が復活のニュースをたくさん聞きました。松野尾の夏祭りも14日に行われました。かつての日常が戻ってきたことをうれしく感じます。

さて、始業式ですが、まず、3・5年生の代表が2学期がんばりたいことを発表しました。自ら目標を立て、実現に向けて努力し、振り返り(評価)をすることは、主体性を育むことにつながります。立派に発表してくれた2名のように、全児童が自分に合っためあてに向かって努力してほしいものと考えています。



私からは、2つ話をしました。1つは夏休み中のなでしこジャパン(サッカー女子日本代表)の活躍に関連させたものです。世界ランクでは格上のチームに対して「挑戦・チャレンジ」する気持ちと、自分たちのよさを生かし「アイデア・工夫」を取り入れた戦い方で、見事にベスト8という結果を出しました。2学期は運動会・文化祭・児童会まつりと大きな行事が控えています。なでしこジャパンのように、「挑戦・チャレンジ」「アイデア・工夫」の気持ちをもって臨んでほしいと伝えました。



もう一つは『人権』についてです。来月26日には、新潟県人権啓発キャラバンが越前小学校にくるので、松野尾小学校の4～6年生も参加する予定です。そのこともあって、子どもたちには「人権って何？」という話をしました。大人の社会でも、ダイバーシティ(多様性)やマイノリティー(少数者)という言葉をよく耳にするようになりました。今後ますます、自分らしく生きることが保障される社会が求められていきます。その意味でも、これからの社会を生きていく子どもたちには、人権感覚や人権意識はもっていてもらいたいものです。

人権を大切にする・守るとは、簡単に言えば『自分を大切にする それと同じように他の人も大切にする』ことだと話しました。人権感覚・人権意識で気を付けるものとして、身近な例では「男だから(らしく)とか、女だから(らしく)などに代表されるジェンダーの感覚」「同調圧力に代表されるマジョリティー(多数者)の考えを押し付ける感覚」などがあります。『自分を大切にする それと同じように他の人も大切にする』ことは人権感覚・人権意識を磨き、その人らしさを尊重する態度につながるものだと思います。私たち教職員がまずはしっかりその感覚を磨くべく努力をして、子どもたちへの支援・指導をあたらなければと考えています。2学期もどうぞよろしくお願いいたします。

子どもたちの体力向上・運動意欲向上を目指して

体育主任 大和田 修平

<R5 体力テストチャレンジコーナー> 「目指せ！松野尾^{ほし}柱修行チャレンジ」



腹筋の修行



ロングジャンプの修行



ぶら下がりの修行

昨年度の松野尾小学校体力テストでは、「上体起こし」や「立ち幅跳び」の種目で、多くの学年が県平均を下回る結果となり、今後の課題となりました。そこで体育部では、体力テスト実施期間前に子どもたちの記録が少しでも向上するようにチャレンジコーナーの取組を行いました。

『目指せ！松野尾柱修行チャレンジ』と名付け、昼休みに「上体起こし」(腹筋の修行)・「立ち幅跳び」(ロングジャンプの修行)・「握力」(ぶら下がりの修行)の3つの力を高める運動に取り組みました。昨年度の課題であった2つの種目に加え、休み時間にも実施可能なろくぼくを使った運動も取り入れました。子どもたちは、学年に応じた目標を目指し、体育部で作成したやり方の動画を参考にしながらチャレンジをしました。目標に向かって限界までがんばる姿や運動そのものを楽しむ姿など、運動の得意不得意に関わらず、意欲的に取り組む姿がたくさん見られました。

チャレンジコーナー終了後に行った体力テストの結果は以下の通りになりました。県平均を上回った学年・性別数が、「上体起こし」は4→6、「立ち幅跳び」は5→9と増加し、記録が向上しました。チャレンジコーナーで体力課題に合わせた運動に楽しく取り組んだことや、やり方動画により動き方のイメージやコツが獲得され、本番でも自分のもっている力を発揮できたことが要因の1つと考えています。

	性別	握力 (kg)		上体起こし (回)		長座体前屈 (cm)		反復横跳び (点)		20mシャトルラン (回)		50m走 (秒)		立ち幅跳び (cm)		ソフトボール投げ (m)	
		自校	県	自校	県	自校	県	自校	県	自校	県	自校	県	自校	県	自校	県
1年	男	7.50	9.13	11.83	11.67	28.17	27.42	32.67	28.22	14.83	22.24	12.15	11.72	125.67	116.59	8.17	8.14
	女	6.80	8.57	16.40	11.58	31.16	29.74	34.60	27.78	14.60	19.38	11.52	11.94	129.80	110.74	5.80	5.76
2年	男	9.22	10.91	11.56	14.52	19.78	29.39	31.89	32.94	22.56	32.60	11.47	10.86	121.33	128.09	11.11	11.09
	女	10.00	10.19	15.00	14.09	26.68	32.18	38.60	32.21	26.60	26.26	10.10	11.12	136.00	121.55	10.20	7.64
3年	男	14.33	12.58	17.17	15.87	29.05	30.49	31.83	35.24	38.17	38.04	9.80	10.34	136.33	135.45	18.50	14.31
	女	10.60	11.91	13.80	15.42	36.30	33.94	29.10	34.30	30.80	30.45	10.47	10.54	123.20	129.70	10.11	9.62
4年	男	12.29	14.49	17.43	17.79	26.00	32.96	39.57	39.37	46.00	44.77	9.76	9.94	141.86	144.29	18.86	17.37
	女	12.17	14.03	15.67	17.06	24.67	36.7	42.83	38.32	42.17	36.90	9.77	10.12	132.17	139.42	15.33	11.68
5年	男	16.63	16.83	20.33	19.34	36.00	34.88	44.50	43.01	61.50	50.85	9.98	9.55	158.33	153.55	22.17	20.63
	女	18.73	16.51	20.90	18.46	37.50	39.30	44.60	41.83	45.10	42.87	9.47	9.69	165.90	148.10	20.20	13.78
6年	男	21.83	19.96	21.00	21.09	36.00	37.04	50.00	46.04	70.25	57.53	8.53	9.12	168.75	165.85	38.00	24.02
	女	20.35	19.44	17.75	19.69	41.63	41.88	47.88	44.06	38.63	47.16	9.74	9.34	159.63	156.68	20.63	15.65

※ 「自校」は今年度の松野尾小の結果・「県」は令和4年度の新潟県の結果(文部科学省調査)

※ 赤は県平均を上回った項目・青は下回った項目

今年度の結果を全体的に見ると、「ソフトボール投げ」で全学年が県平均を上回る結果になりました。また、「立ち幅跳び」「上体起こし」「20mシャトルラン」「反復横跳び」でも多くの学年が県平均を上回っています。一方、「握力」と「長座体前屈」では、県平均を下回っている学年が多くあり、握る力や柔軟性に課題があることが分かりました。どちらも短時間の取組で向上できる種目ではなく、長期的な取組が必要です。そこで、体育の単元の内容に合わせて体力向上につながる運動を意図的に取り入れたり、準備運動の中で柔軟運動を行ったりするなど、継続的に取り組んでいきます。また、子どもたちが楽しく運動に取り組めるように、今後も跳び箱や縄跳びのチャレンジコーナーを行う予定です。